

平成20年9月、ホッチキスの歴史に、新たな1ページ

今、話題のホッチキス

2枚から40枚を余裕で綴じる **Vaimo11** FLAT   
中型機を超えた 新世代・ハンディタイプホッチキス バイモ11フラット

## 卓上(共用)から、ハンディ(パーソナル)へ!

◆2枚から40枚までの書類を軽く美しく綴じられる、新世代ホッチキス  
バイモ11(イレブン) 誕生!!

中型ホッチキスに搭載されている機構をダウンサイジングしてハンディタイプの本体に搭載しました。(本体の特許9件、新規格針の特許1件)

新たに開発した専用針「No.11」と相まって、厚い書類も軽い力で綴じることができ、見た目も美しく仕上がります。小型から中型までの綴じ領域を1台でカバーできる「バイモ11」の誕生です。



とじ枚数  
**2枚~30枚**



とじ枚数  
**2枚~40枚**

2008年度  
グッドデザイン賞受賞。



ユニバーサルデザイン  
研究機構認証第10号



**UD**ユニバーサルデザイン

## 「厚い書類も、自席でとじたいな!!」

### ◆「バイモ11」でオフィスワークが変わります。(マイ・ホッチキスの時代です)

オフィスでは小型ホッチキスの最大綴じ枚数20枚を超える厚い書類は、職場共用の中型ホッチキスを取りに行ったり、誰かに作業を依頼したりしていました。引き出しに収納できるマイ・ホッチキス「バイモ11」なら、その場で簡単に綴じられる様になり、プレゼンテーション資料など体裁の気になる書類も、細い針「No.11」で美しく仕上がります。



一方、一般家庭でも枚数の少ない綴じはもちろん、これまであきらめていた20枚を超える綴じも、「バイモ11」1台で簡単にできるようになります。



### ◆ハンディタイプ(小型)40枚綴じを可能にした技術の数々

「フラットクリンチ機構」、「軽とじ機構」採用の他、厚い書類を片手で綴じられるよう、中型ホッチキスに搭載している機構を小型化して搭載しました。

■**フラットクリンチ機構** 綴じ裏がフラットに仕上がリ、書類がかさばらない。

**FLATCLINCH**

■**軽とじ機構** テコの原理を応用し、約半分の力で綴じられる。

#### ■「オニバ」形状のドライバ

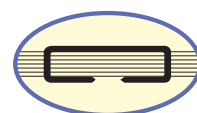
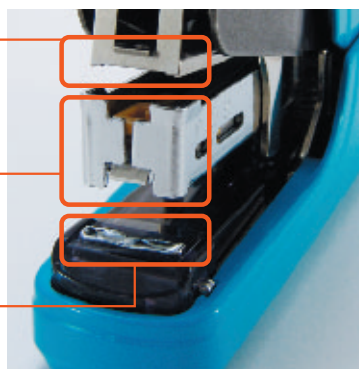
針の両肩をガードしながら全体に力を加えるので、針の変形を防ぎます。

#### ■「ステープルホルダ」と「ステープルガイド」

針の逃げを防ぎ、ドライバに押されている針を最後まで垂直に貫通させます。

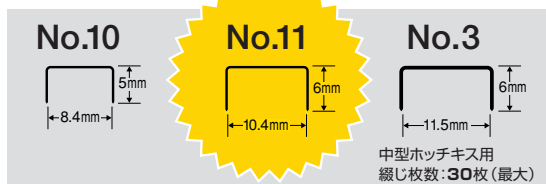
#### ■「2段クリンチャ」機構

書類の厚さによって出方の異なる針足を確実にクリンチできるよう、形状を工夫しました。



## ◆新規格針の開発

「バイモ11」の開発にあたっては、小型ホッチキス用の針「No.10」と同じ線径を採用しました。肩幅は「No.10」より2mm、針足の長さを1mm長く設定。「No.10」と同線径のため、針が紙に入りやすく、クリンチしやすいので、40枚をしっかりと綴じることが可能になりました。



## ◆ホッチキスの歴史はマックスが創ります。

昭和27年、国産初の小型ホッチキス発売以来、累計販売台数は3億9000万台を超え、職場や家庭でご愛用されています。

「バイモ11」は、お客様の声と、マックスの伝統と技術でできあがった商品です。これからもさらなる「綴じ」の極みへ。もう次の進化が始まっています。

